

黒潮の北偏傾向は今後も継続 全層(0~200m深)で「やや高め~高め」で推移

(令和5年3月の海況と今後の予測)

1 海洋観測結果(3/15~16:調査船「いばらき丸」)

- 水深別水温図を図2、3、4に、鉛直図を図5に示しました。水温は0m深で13~19℃台、50m深で13~19℃台、100m深で13~18℃台、200m深で10~17℃台でした(図2)。
- 前月と比較すると、黒潮がわずかに離岸したことで犬吠埼沖の全層で降温傾向となりました。会瀬~鹿島の141°E以東では、黒潮からの暖水波及による影響で昇温傾向となりました(図3)。
- 平年と比較すると、全層で「やや高め~極めて高め」となりました(図4)。
- 潮流は会瀬~鹿島の141°10'E~141°30'Eで逆潮傾向、他で真潮傾向となりました。

2 本県周辺海況の現況

- 本県海域の0m深水温は13~19℃となっています(図1)。
- 黒潮は犬吠埼の東40マイル、塩屋埼の東75マイルを北北東に流れています。黒潮の北限は143°E付近で38°30'N付近まで達し、北偏しています(3月17日海上保安庁「海洋速報」より)。
- 本県沖合域は黒潮が流れ、沿岸域は黒潮からの暖水波及や反流による影響を受けていることから、ごく沿岸を除いて水温が平年よりも高くなっています。ごく沿岸では、黒潮が離岸したことによって沿岸湧昇が起こり、0~50m深で12~15℃台となっています。

3 今後1か月の見通し

- 黒潮の立ち上がりは今後も継続すると考えられ、141°E以東を中心に全層で黒潮からの暖水波及や反流による影響がみられるでしょう。
- ごく沿岸では沿岸湧昇による水温の低下がみられるものの、暖水波及の影響で水温は平年よりも高め傾向となるでしょう。
- 1か月後の水温は、黒潮とその暖水波及により全層(0~200m深)で「やや高め~高め」で推移する見込みです。

【参考】3月の0m深の平年値(142°E以西の30年間(1991-2020)の平均水温)
(定線別平年値*) 会瀬: 10~12℃台、大洗: 10~13℃台、鹿島: 11~14℃台、犬吠埼: 12~16℃台
詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 小熊 進之介)

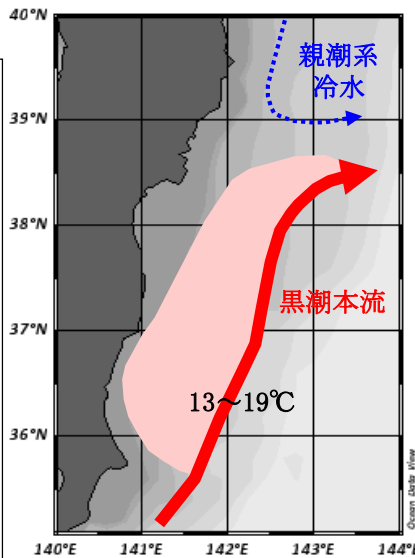


図1. 海況の現況
(3月16日)

※水温は平年値と比較して、
±1.5℃が「平年並」、
±1.6~3.9℃が「やや高め・やや低め」、
±4.0~6.0℃が「高め・低め」、
±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

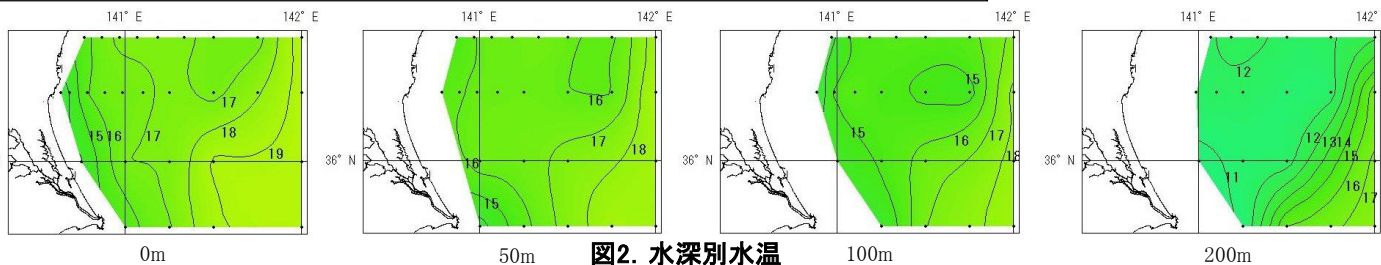


図2. 水深別水温

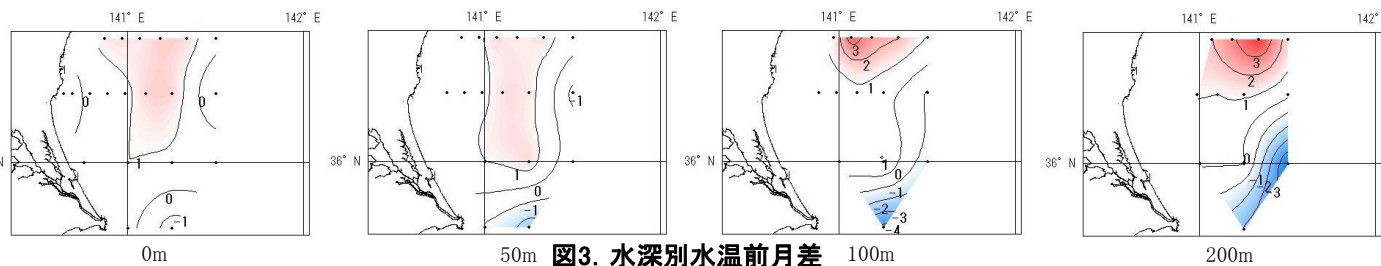


図3. 水深別水温前月差

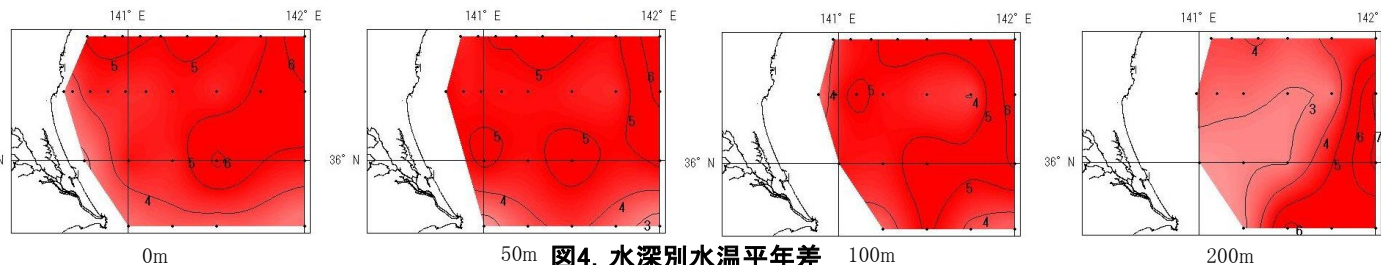


図4. 水深別水温平年差

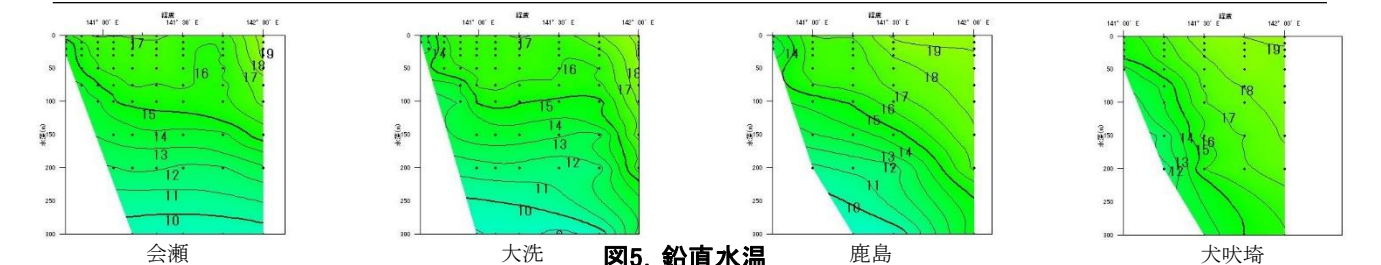


図5. 鉛直水温